



# 中央 同窓会報

第32号

## CONTENTS

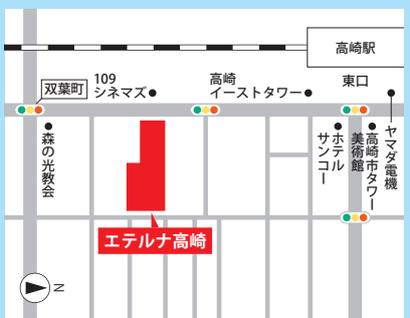
<b>特集</b>	県中学校駅伝大会(男子)中央中等が初優勝!! 関東・全国大会出場	6	
特別寄稿	3	進路だより	12
母校だより	8	同窓会活動報告	14
■ 題字：8期 廣瀬 正史 (少林山住職) ■ 表紙の写真：現在の校舎			

**令和7年度  
通常総会のお知らせ**

日時▶ 2025年6月21日(土) 17時～  
会場▶ エテルナ高崎  
高崎市栄町22-30 TEL027-323-1122

総会終了後、18時より懇親会を予定します  
会費：4,000円 (学生1,000円)  
新卒者は無料  
会員のみなさまのご出席をお待ちしています。

\*人数掌握の為、懇親会に出席の方は、中央同窓会ホームページにあるアドレス(下記)にご一報いただけると助かります。  
gunmachuo.dosokai@gmail.com



## 中央中等教育学校校歌 中央高等学校校歌

作詞 草野 心平 作曲 渡辺 浦人

一、春はむらさき 夏は雲  
群青の秋 雪の冬  
白亜に映える 学び舎に  
太陽光は ふりそそぐ  
おお朋がらよ 眉あげて  
火の山の 高きにならえ  
若人よ 腕組みて  
新しき学を きわめん  
群馬中央 われらが母校  
われらは真と美に生きる

二、赤城風を なつかしみ  
仰ぐは四季の 榛名山  
校旗はためく 学び舎に  
われらは集う おおらかに  
おお朋がらよ 胸張りに  
健康に わが身鍛えん  
若人よ こぞりてぞ  
新しき文化 築かん  
群馬中央 われらが母校  
われらは善と義に生きる

発行

## 群馬中央同窓会

卒業者数 15,625人 (中央高等学校 13,697人 中央中等教育学校 1,928人) 2025年4月1日現在  
〒370-0003 群馬県高崎市新保田中町184 TEL.027-370-6663 FAX.027-370-4910

ホームページ 「群馬中央同窓会」で検索



中央高等学校  
昭和38年1月1日創立



中央中等教育学校  
平成15年4月1日創立

同窓会長あいさつ



## みなさまの愛校心で 成り立つ同窓会

同窓会長 時澤 秀明

1987年の夏、県大会を制した中央高校野球部が、初めて甲子園大会に出場しました。その後プロに進んだ選手を何人も擁するPL学園相手に善戦するも、惜敗しました。全力で闘い抜いた選手の姿には、感動の涙と大きな拍手が送られていたものです。

甲子園出場が決まってすぐに寄付金集めが始まり、野球部関係者だけでなく多くの卒業生が奔走したのを思い出します。私もその一人でした。愛校心の結晶である寄付金の残りは、同窓会に引き継がれ、特別積立会計として同窓会や後輩たちの将来に向けた蓄えとなりました。

同窓会活動の大きな目的の一つに、後輩である中央中等生への支援があります。平成29年に設置された「朋友基金」と並行して支援を続けています。それは、海外研修事業への補助、地球市民語学研修への補助、開校記念講演会への講師招聘、図書購入補助、大会出場補助等々、多岐にわたります。

支援のための原資は、同窓生のみなさんからいただく二千円の「年会費」です。年会費で不足する分は将来への蓄えである特別積立会計から補う必要がありますが、そこからの持ち出しを極力減らすため、年会費の納入を増やす取組を進めてきました。家に居ながら振り込みができるQR決済を導入したのもその一つです。少しずつ効果が出始め、お振込みいただく年会費が増加傾向に転じましたが、未だに全会員の1割にも満たない状況です。

学校の式典に参加すると、中央高校から変わらぬ校歌が元気に歌い継がれています。「フロンティア・スピリット」の言葉も様々な場面で耳にします。「群馬中央」という同じ潮流の中にいる中央中等生の活躍は、今回の会報にも掲載されました。ひたむきな後輩たちの姿は、甲子園賞金を夢中で集めて回った時と似た気持ちにさせてくれます。

会員の皆さまからいただく年会費は、愛校心そのものです。これまでご協力いただいた皆様には変わらぬご支援をお願いしつつ、さらに多くの方々のご協力により、後輩の中央中等生のさらなる飛躍を全力で応援できる同窓会活動を展開していきたいと考えています。皆様の愛校心で成り立つ同窓会活動に、ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

校長あいさつ



## 中央中等教育学校の 更なる発展を目指して

校長 春田 晋

中央中等教育学校2年目となりました校長の春田です。どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度も同窓会からは、卒業記念品や前期駅伝全国大会出場時の補助など、様々な面で多くの御支援をいただき、ありがとうございました。

令和7年度は、中央中等教育学校として開校22年目となりました。今年度も4月から様々な教育活動が順調に進んでいます。

さて、現在の教育現場は大きな転換期を迎えています。急速に進む社会の変化に対応すべく、本校では「FEWCプログラム」(Frontier Education for World Citizenship)を柱に、探究学習の充実やICT教育の推進、グローバル教育の強化など、新たな取り組みに挑戦しながら、目指す生徒像である「World Citizen」の育成に努めているところです。生徒たちは日々、自らの可能性を信じ、たくましく未来に向かって歩んでいます。また、教職員も一丸となって様々な教育活動に取り組んでいます。そのような姿に触れ、中央中等への誇りと愛着が、自分の中で一層強くなっていることを実感しています。

予測困難な状況は、今後も続いていくものと思われませんが、10年先、20年先も、本校が多くの方から愛され求められる学校となっていけるよう、現状に満足することなく発展していきたいと考えています。

昨年6月に開催された中央同窓会懇親会では、参加者の皆様と有意義な時間を過ごすことができ、学校への応援もたくさんいただきました。各方面で御活躍されている会員の皆様は、本校の誇りであり、在校生にとって大きな励みとなっています。会員の皆様の御健勝と益々の御活躍を祈念しております。

今後とも、時澤会長様をはじめ、同窓会会員の皆様の中央中等教育学校に対する御理解・御協力をお願いいたします。

特別寄稿

## 群馬から世界へ：私の原点と グローバルビジネスへの挑戦



ジェトロ群馬貿易情報センター  
所長

20期 高橋 由篤

昨年2024年11月、約40年ぶりに群馬県高崎市に生活拠点を移し、新しい挑戦が始まりました。上毛三山に囲まれたこの地での生活は、かつての日常を思い起こさせる懐かしい風景と、時を経て変化した街の姿に触れる毎日です。この環境が、心を清々しくしてくれるだけでなく、群馬経済の更なるグローバル化の可能性の新しいアイデアを日々もたらしてくれる助けとなっています。

19歳で群馬を離れてから、東京での大学生活を経て日本貿易振興機構(ジェトロ)で勤務を始めました。以来、海外駐在ではオーストラリアのシドニー、アメリカのロサンゼルス、オランダのアムステルダム、3都市に計11年勤務し、国内では静岡・清水や新潟など、計5年の勤務を経験しました。また、アジア、南北アメリカ、欧州、中東、オセアニアと世界各国にわたり、延べ40カ国以上を訪問する海外出張を行い、それぞれの地域の多様性やビジネス環境に触れてきました。

具体的には、欧米の主要都市ニューヨーク、ロンドン、パリをはじめ、南米アマゾンの深い森林地帯にある都市マナウスでの投資環境視察ミッション、ペルー・リマでの日系企業によるサービス産業の可能性調査、アイスランド・レイキャビックでの地熱発電に基づく水素エネルギーの導入の可能性調査、紛争地のイスラエル・テルアビブとエルサレムでの事務所運営の安全確保など、多岐にわたるミッションに携わってきました。アジア地域では、インドのニューデリー、チェンナイ、ベンガルールにて自動車産業の可能性を探るミッション派遣を経験し、中国では香港や上海、北京をはじめ、成長著しい内陸都市成都や武漢、さらにベトナム、マレーシア、カンボジアにも訪問しました。また、最近では、桐生織物の輸出促進を目的としてサウジアラビアへの出張を行い、新たな市場の開拓に挑戦しています。アフリカ地域については出張直前に隣国での暴動により予定が中止となった経験もありますが、アフリカビジネスへの関心を持ち続けています。

私の原点となるのは中央高校です。中学時代に出会った司馬遼太郎さんの歴史小説に魅せられ、高校時代にその作品群を読み終えた頃には、日本の成り立ちが無名の人々の知恵や努力によっても支えられていることを学びました。また、「風土と歴史」がこの国の形を成していることに気づきました。高校時代に、日本は資源の乏しい国でありながら、国際社会において持続可能な発展を遂げるためには国際貿易が重要であるという考えに至り、それが現在の職業選択につながっています。

高校時代では、バドミントン部での部活動を通じて先輩や同級生、後輩たちと充実した時間を過ごしました。また、友人たちとの将来を見据えた議論も心に残っています。特に、文系から理系に転身しアフリカの飢餓問題解決を目指した友人の姿勢は、自分にとって大きな刺激となりました。冬の寒風の中で自転車をこぎながらからっ風に向かいながら帰宅する日々の思い出も忘れがたいものです。

現在勤務しているジェトロは、日本と世界を貿易・投資でつなぐ経済産業省所管の独立行政法人であり、以下の活動を柱にしています。①イノベーションの創出、②農林水産物・食品の輸出促進、③日本企業の海外展開支援、④情報提供・研究です。世界56カ国76事務所と国内49か所に及ぶ拠点ネットワークを活用しながら、企業支援や政策提言を行っています。ジェトロ勤務の初期に上司から教わった「貿易は平和な国同士が行うものであり、紛争が続く国同士では成立しない。貿易振興は世界平和に貢献するものだ」という言葉が、今でも自分の胸に刻まれています。

また、近江商人の「三方よし」の理念は、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三つを指し、単なる利益追求ではなく、ビジネスが社会全体に良い影響を及ぼすべきだという考え方です。この理念は現代のグローバル社会においても普遍的な価値を持ち続けており、売り手と買い手の双方が利益を得ながら社会に貢献する商取引を実現するための基本的な考え方だと考えます。先人の商売に対する考え方、姿勢は現代にも通ずるものだと思います。昨今の米国との経済関係、地政学的な不確実性の高まりを考えるとなおさらです。

高崎市を拠点に、日本のグローバルビジネスの推進を目指し、これまでの経験と知識を活かして地元群馬と世界をつなぐ架け橋となるべく、日々業務をしています。未来への挑戦を続ける中で、地域社会への貢献をしつつ、新たな価値を生み出す活動に取り組んでいきたいと考えています。

## 特別寄稿

## not only 勉強, but also 青春

東京藝術大学音楽学部器楽科ファゴット専攻 卒業  
 ハンス・アイスラー音楽大学ベルリン修士課程 在籍  
 ハンブルク交響楽団2024/2025シーズン アカデミー生  
 中等8期 田島 慶太

群馬県立中央中等教育学校で学んでいる皆さん、こんにちは。

中央中等8期卒業生の田島慶太（たじま けいた）です。久しぶりに母校を思い出しながら、この文章を書いています。

私は東京藝術大学音楽学部器楽科でファゴットを専攻し、現在はドイツ・ベルリンにあるハンス・アイスラー音楽大学の修士課程に在籍しています。2024/2025シーズンには、ハンブルク交響楽団でも演奏しています。

音楽の道を選ぶことになったきっかけは、中央中等の管弦楽部でした。もともと音楽に興味はありましたが、中等1年で管弦楽部に入部し、初めてファゴットという楽器に出会いました。勉強よりも音楽に夢中の「部活第一人間」でした。

在学中、ある数学の先生がよく口にしていた言葉があります。

「圧倒的基礎力をつける」「量は質に転化する」

私は今、楽器の練習を通じて、この言葉の意味を実感しています。

地味だけれど大事なロングトーンや息のトレーニングなど、どれだけ丁寧にその「基礎」練習を積み重ねられるかが、本番の演奏に直結します。まさに「圧倒的基礎力をつける」ことそのものです。

そして「量は質に転化する」。毎日続けて数時間練習し「量」を積み重ねていくことで、自然と「質の高い演奏」へと繋がっていきます。練習をしている最中は「全然変わらないな…」と感じることもあります。でも、あるときふと「前はできなかったことが、今はできる！」という瞬間がやってきます。そんなときに、「これが”量は質に転化する”ということなんだな」と実感します。

—「いつか留学してみたい」と思っている人へ—  
 その気持ち、ぜひ大切にしてください。

中等にいた頃の私は、まさか自分がドイツに留学するとは思っていませんでした。でも、思い切って海外に飛び出してみたことで、世界が一気に広が

りました。文化も価値観もまったく違う人たちと出会い、自分の考え方や視野も大きく広がりました。

そして、そのとき役に立ったのが、中等で学んだ英語でした。

シス単、ビンテージ……。当時は大変でしたが、英語が全然できていなかった私でも、留学先の友達と話す中で、ふと記憶の奥からシス単の小テストの時の単語が出てきて、「あれ、けっこう伝わってるぞ?」と思えた瞬間が何度もありました。(特に、当時の英語の先生が”not only… but also…”の構文を延々と唱えていたのですが、今ではそれを多用しています笑)

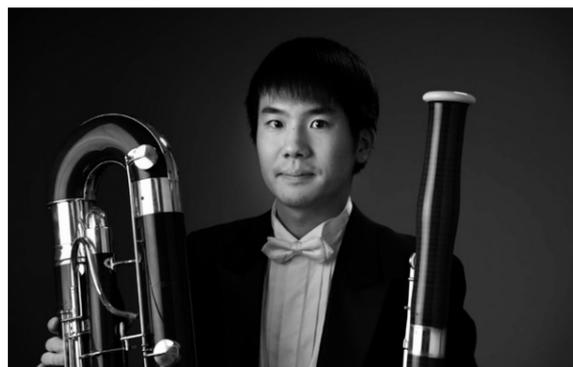
—最後に—

今、中央中等で過ごしている毎日は、忙しくて大変なことも多いと思います。でも、卒業して振り返ってみると、間違いなく「楽しかった」と思える、かけがえのない青春の時間になるはずです。

私のまわりの同級生も、「結局楽しかったよな、中等時代」とよく話しています。

今しか味わえないこの瞬間を大切に、自分の「好き」や「興味」に耳を傾けて、前に進んでいってください。

いつか、皆さんとどこかでお会いできる日を楽しみにしています！



© Mihály András

## 特別寄稿

## ちょっとだけ 無理な挑戦

新潟大学大学院 自然科学研究科  
 材料生産システム専攻  
 機械科学コース 博士前期課程  
 中等11期 反町 虎聖



中央中等生の皆さん、初めまして。

私は、中央中等11期生の反町 虎聖（そりまち りゅうと）です。在学中は、硬式テニス部に所属していました。卒業後は、新潟大学工学部に進学、現在は、同大学大学院に在籍しています。大学では、CanSat（カンサット）という自律対向二輪ローバーやハイブリッドロケットの開発を行う“新潟大学CanSatプロジェクト”という団体に所属し、設計開発に携わっています。そこで得た経験を中等時代の私と交えながら皆さんにお伝えできればと思います。



ロケットから投下し砂漠を走行した機体

まず、CanSatとは、人工衛星や惑星探査機と類似の技術を使用して製作される缶（Can）サイズの小型模擬人工衛星（Satellite）です。CanSatは、宇宙開発の基礎を

学ぶ製作活動として、大学を中心に国内外問わず実施されています。また、その研究成果の実証の場として多くの大会があります。大会では、“Comeback Competition”という競技があり、上空からパラシュートと共に機体を投下し、着地後、自律走行によりゴールにどれだけ近づけるかを競うものです。国内大会では、ドローンで高度50mから投下する能代宇宙イベントなどがあり、国外では、高度4,000mまで上昇可能なロケットに搭載して投下する、ARLISS（アーリス）というアメリカネバダ州ブラックロック砂漠で開催される国際大会もあります。(UNISEC大学宇宙工学コンソーシアム主催)

私は昨年、開発チームのプロジェクトマネージャー（PM）として、新潟大学で初めてARLISSに出場しました。結果は、“0mゴール”という最も精度の高い記録で、大会史上初となる初参加&初優勝を達成しました。アメリカでの短期生活のための準備や大学4年間の開発の集大成となる機体を完成さ

せるべく、研究室で夜を越したことは数えきれないほどですが、PMとしての責任を果たすため、共に努力する開発メンバーの思いに応えるため、最大限力を尽くしました。

ここまでで、自分で言うのも恥ずかしいですが、「大学生で衛星開発？ハイスペックすぎ」「専門用語が通じる英語力ってすごい」「リーダー気質があるんだろう」等、こんな印象を持ったかもしれませんが、中等時代の私は、これらの印象とは程遠い平凡な学生でした。課題の未提出は珍しくなく、英語力は辛うじて英検2級程度、大学受験で失敗して浪人など…。今思えば、「周りのレベルが高すぎて結果が出ないんだ」と他責思考の劣等感を抱いていて自分に甘かったんだと思います。そんな私が大学で結果を残せたのは、浪人時代のあることがきっかけで、自分の弱さと初めて本気で向き合えたからです。それからは、自分は何がしたいのか、何ができるのかを常に考えるようになりました。加えて、中等時代に秀才達の中で懸命に勉学や部活に励んだ経験は、今の私が前に進むための推進力にもなっています。実際、総合学習やGSの授業で培った課題解決能力や資料作成能力は、ARLISS出場までの過程や企業プレゼン等において大変役に立ちました。

色々と言ってきましたが、最後に、中央中等での日々を賢明に生きる皆さんに少しだけ、先輩の私から一言。

『ちょっとだけ、無理なことに挑戦してこーぜ』

これは、私が好きな“宇宙兄弟”という漫画の主人公、南波六太のセリフです。初のアメリカ挑戦には、不安は常に付きまとい、悩むことも多々ありました。悩むこと自体は良いことですが、いつまでも悩むのは時間の無駄です。そんな時、今この瞬間に何ができるかを考えます。勉強や部活動で結果を出すことも、CanSatの国際大会で成果を出すことも、大して差はありません。今ちょっとだけ無理をすれば、実現可能な挑戦を積み重ねていければ、きっと最高の結果に繋がることでしょう。中央中等で頑張る皆さんのちょっとだけ無理な挑戦に期待しながら、私も一緒に挑戦し続けようと思います。



チームOver Lights開発メンバー

# 特 集 県中学校駅伝大会(男子)中央中等が初優勝!! 関東・全国大会出場

令和6年11月9日、渋川総合公園において、群馬県中学校駅伝大会が行われました。県内の予選を勝ち抜いた各市町村の代表50校が出場する中、中央中等男子は初優勝を果たし、山梨県で行われる関東大会、滋賀県で行われる全国大会出場の切符を手に入れました。県大会では、終盤まで熾烈な首位争いが続き、6区では、2位と2秒差でたすきを受け取り、ここまでつないだ5人の思いを守り抜き、2位と17秒差でゴールテープを切りました。



高崎市大会ゴールシーン

## 関東大会8位入賞! 全国大会11位 悔いない走りができた!

関東大会でも、それぞれの選手が見事な走りを見せ、6区13位でたすきを受け取り、5人抜きで8位入賞を果たしました。9位のタイムと同タイム、わずかに1秒ない差でした。選手の思いの強さが伺えました。

全国大会は、12月15日、滋賀県希望ヶ丘文化公園で行われました。たくさんの応援の方々が見えました。入賞にはならなかったものの、初出場で48チーム中11位、大健闘でした。6区の小林咲斗君は区間5位の好成績を取めました。主将の松澤歩君は「全員が悔いのない走りできた。喜びの方が大きい。」と充実感をにじませました。全国大会終了後も、校庭では練習が続いています。後輩たちも一段とやる気を出し、練習に励んでいます。今後さらなる飛躍を期待したいです。



関東大会 第1区



関東大会 表彰式



全国大会会場で応援旗をもって



全国大会 第2区



全国大会 第5区



全国大会レース後の集合写真

※学年は令和7年3月現在のものです

## 選手からの声

### 松澤 歩 (3年)

駅伝部で学んだことは、強くなることで実感した継続力の大切さです。また、主将の経験で統率力を高めるには熱意ある行動が大切だとも学びました。今後も学んだことを多くの場面で生かし、仲間と切磋琢磨し、躍動したいです。

### 狩野夢翔 (3年)

今回の駅伝を通して、「駅伝は個人で戦う種目ではない」ということを学びました。全国の大舞台を経験して、チームとしての目標をより強く持つようになりました。仲間と一体感を持ち、良い結果を出すこともできました。

### 小林咲斗 (3年)

最終区の責任と重圧に押しつぶされそうな時もありましたが、全ての仲間のあたたかい雰囲気を支えられ、走り切ることができました。これからも仲間の支えを胸に、明るく楽しく走り続けていきたいと思っています。

### 浅見太郎 (3年)

自分が関東・全国の舞台で憧れていた同級生の人々と肩を並べて走れることは夢にも思いませんでした。満足した記録が出ず、何度もやめたいと思ったこともありましたが、続けられどここまで速く、強くなれると感じました。

### 細沼圭吾 (2年)

駅伝を通して感じたことは、「メンバー全員で同じ目標に向かって努力していけば必ず目標が叶う」ということです。来年は、自分がキャプテンとして、常に全力を尽くすことを目標に、



(下段左から)松澤 狩野 小林 浅見 (上段左から)細沼 設楽 江原 前田 大堀 監督 安井 航

今年を超える成績を残したいです。

しさをバネに、もう一度全国大会へ出場できるようにがんばります。

### 設楽郁斗 (1年)

約半年間、多くの仲間と先生方の協力をいただき、全国大会まで出場できたことは本当に嬉しさしかありません。仲間と協力していく大切さを生活でも活かし、来年、再来年も高みを目指して頑張りたいです。

### 大堀敬音 (2年)

駅伝を通して仲間の大切さを実感しました。日々の練習でチームワークを高められたことが全国に繋がったと感じます。全国大会の経験を活かし、チームの主力として、まずは新人駅伝で優勝を勝ち取りたいです。

## 監督より

今回、全国大会という大舞台を経験できたのは、選手をはじめ、前期駅伝に所属した生徒全員が互いに切磋琢磨して練習に励んだ賜物だと思います。県優勝を遂げたからの選手の飛躍は、目を見張るものがありました。これも多くのの方々の励ましのお陰だと思います。この経験をいかして、さらに駅伝部の伝統を積み重ねていきたいです。(監督 安井航)

## 清水 歓太さん (中等6期生) 後輩に激励

現在、SUBARU 駅伝部所属でニューイヤー駅伝にも出場している清水歓太さんが、関東・全国大会に向けて選手激励のため、学校を訪問してくださいました。清水さんも中央中等時代、駅伝の経験者で関東高校駅伝に出場しています。「全国大会出場は本当にすごいこと、このメンバーで最高の思い出を作ってきてほしい。」と伝えてくれました。



## 同窓会からも選手激励

県大会優勝、関東大会入賞の健闘をたたえとともに、全国大会でのさらなる活躍を祈り、令和6年12月9日、校長室において、選手たちを激励する会が行われました。同窓会からは会長・副会長が参加し、激励金を渡しました。選手の皆さんから頼もしい挨拶をいただきました。



生徒会長あいさつ



真と美、善と義に生きる

令和6年度生徒会長

5年 根岸 実花

新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからもうすぐ2年が経ちます。あんなに長いと思っていた中央中等生活の6年間も気づけばあっという間に過ぎてしまうものなのですね。

分散登校に始まり、マスク越しの会話、オンラインでの全校集会、行事のない学校生活。自分以外の友達や先生が遠くにいるように感じ、いつもどこか寂しさを感じていたコロナ禍の日々は夢だったのかと思うほど、当たり前のことが当たり前できるようになりました。2024年度を振り返ると、本当に充実していたことをしみじみと感じます。2024年度は、例年と大きく変わったことが主に2つありました。まずは、中間テストの廃止。6学年で1番テストの教科数が多い4年生はひいひい言いながらテスト勉強をしていましたが、年に3回のみ期末テストは例年よりも緊張感がありましたし、自分の勉強ができる時間が増えたことほどの学年にとっても有益だったと思います。そしてもう一つは何と言っても朋友祭と体育祭の同年開催。こちらも実行委員はひいひい言いながら準備を進めていましたが、やはり6学年全員で行事に参加するというのは、何にも代えがたい素晴らしさがありますね。私達後期生は前期生の素直でエネルギッシュな姿、新しいものを追いかける姿に刺激を受けましたし、前期生は後期生の美しくて立派な姿から何かを学んでくれていたらいいなと思います。

また、新たに21期生徒会本部が発足し、もうすぐ半年が経ちます。私は会長として至らぬ点も多い中、優秀な同級生や後輩たちに助けられています。今期は、「親しみやすい生徒会」をモットーにしており、今まで以上に生徒の皆さんの生活を間近に感じることが多い中、毎日本当に楽しそうにしている子たちを見ると、本当に嬉しくなります。それと同時に、クラスにみんながいる安心感、笑顔を見せ合いながらの他愛もない会話、体育館に中学生と高校生が集まる全校集会、充実した学校行事。再び得ることのできたこの幸せを私達はまた、当たり前のものだと感じて見過ごしたくないとも強く思います。そのためには、自分にも人にも素直に、そして常に美しく立派な姿を心がけていきたいですね。

勉強も部活も行事も全てに全力だった16期生の皆さんが教えてくれた中央中等生の然るべき姿を胸に、中央高校から引き継がれる歴史を守るために今年度も中央中等生一丸となって邁進していきます。

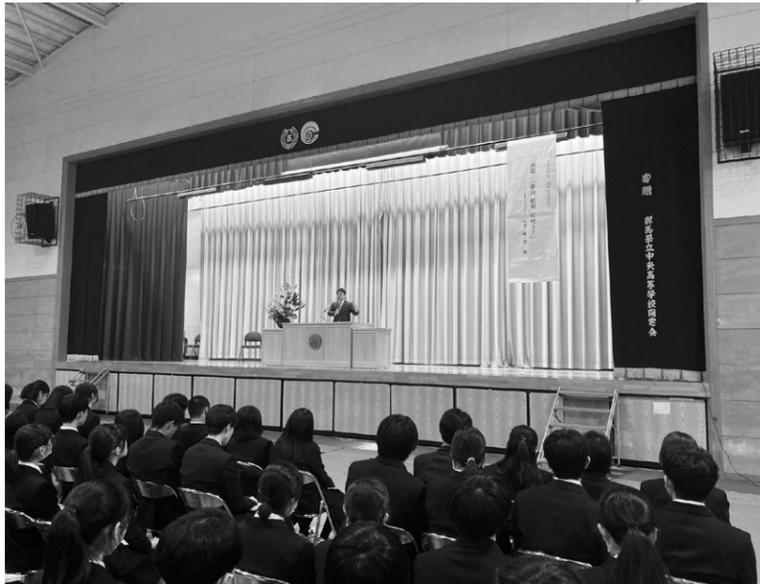
※学年は令和7年3月現在のものです

# 令和6年度 開校記念講演会

令和6年11月1日

講師 テレビ東京アナウンサー

矢内 雄一郎氏



テレビ東京アナウンサーの矢内雄一郎さんを講師に迎え、「夢は絶対に叶う！」をテーマに、夢を諦めず、努力し貫き通すことの大切さを、経験を踏まえてお話しいただきました。

講演会当日朝のニュース原稿を、アドバイスを込めつつ色々なバージョンで読む姿に、生徒たちは瞳を輝かせ、大切なことを感じ取っていた様子でした。「人に聞かせること」に集中する場面を目の当たりにし、プロフェッショナルの凄みを見せていただいた講演でした。

## 講師プロフィール

1980年群馬県伊勢崎市出身、伊勢崎市立第三中学校、県立中央高校（第34期生）から東京学芸大学に進む。2003年テレビ東京に入社。現在コンテンツ戦略局アナウンス部所属。報道・スポーツ・ナレーションを中心に様々な番組で、幅広く活躍している。現在の担当番組は、「News モーニングサテライト（月・木・金曜）」、「シナぷしゅ（ひーたんの声）」、「エンター・ザ・ミュージック」など。いせさき教育アンバサダーとして多くの学校で講演活動も行っている。

## 生徒の感想

普段テレビで見ているアナウンサーさんの仕事は本当に一部分だけで他にも多くの仕事があることに驚かされました。お話の中でも抑揚、間などこちら側が聞き取りやすいようにする技術が伝わってきました。小さいころからの夢を努力してかなえた矢内さんのように「夢は必ずかなう」この言葉を信じて自分も夢に向かって努力していきたいです。（4年生）

矢内さんは日常からアナウンサーとしての責任を常に意識されていて、仕事に対する誠意を感じました。また、アナウンサーの仕事の裏側という貴重なお話を聞かせていただきとても興味深かったです。また、夢の範囲を限定せず、自分の興味に関する職業に就く道筋の立て方をお聞きでき、勉強になるとともに将来への前向きな気持ちが芽生えました。（5年生）

今回の講演を聞いて、夢を持つことの大切さを学びました。私が心に残ったところは夢の持ち方を変え、諦めずに夢を目指すという話です。1つの夢を目指すとき全く違うところでキャリアを積みながらも夢を諦めないでいることは難しいと思いました。私は自分に甘く、上手くいかない時に、現状に満足しようとする人が多いです。そうではなくて、夢を諦めず、現状でその夢に向けて何が出来るのかを常に考えることが大切だと学びました。（6年生）

講演会の講師の方がアナウンサーだと聞いて、当日を楽しみにしていました。今回の講演会で特に心に残っているのは「楽しい仕事をしてほしい」という言葉と、「憧れの自分への近道」という言葉です。この講演では、本当に気付かされるのがたくさんありました。私も、いつか夢が決まったときには、その夢を「絶対に叶えられるよう、自分を見つめ直し、また努力をして、「憧れの自分への近道」を見つけていきたいと思っています。（1年生）

私たちは矢内さんの話を聞きました。彼はテレビ東京のアナウンサーです。テーマは、「夢は、絶対に叶う！」でした。彼は私たちに仕事内容やどうやってアナウンサーになったかを話してくださいました。実際に矢内さんが早口言葉を私たちの前で披露してくれました。とても素晴らしかったです。しかし、私は、早口言葉は、ニュース原稿をはっきりと正確に読むことのほうが速く読むことより大事だから、とても重要なわけではないということを知ってとても驚きました。彼は違う声で同じ文章を読んでくれました。彼は、ニュース原稿をアナウンサーとして、テレビ番組「シナぷしゅ」の「ひーたん」になりきって、の2つの声で読んでくれました。とても違いがあって、驚きました。彼は「アナウンサーになるための試験は自分の自己紹介があるから、もしアナウンサーになりたいなら、コミュニケーション能力が必要です。」とおっしゃっていました。最後に、彼は、夢を持つことは将来のために何をすればよいか分かるから、必要だとおっしゃいました。私は、明確な夢を持っていないので、将来の夢を見つけるためにいろいろな経験をするつもりです。（2年生）

夢を叶えるために努力したことなどを講演して頂いたのですが、堅苦しくなく、面白い競馬の話だったり、実際に原稿を読んでもらったり等笑いも起こる面白い講演でした。私は質問をさせていただいたのですが、一問一答になってしまった質問にもその質問から話題広げて頂き、「さすがアナウンサーだ」と感じました。この講演から学んだことを生かし、私自身の夢を叶えるために努力しようと思いました。（3年生）

## 令和7年4月1日付 学校教職員人事異動（敬称略）

転出・退職者				転入者			
職名	教科	氏名	転出先等	職名	教科	氏名	転入元
副校長		宮前 嘉則	みどり市立大間々東小学校校長	副校長		田村 強	藤岡市立北中学校教頭
教頭		町田 邦江	県総合教育センター補佐	教頭		小林 美穂	太田フレックス高校(通信制)教頭
事務長		岩丸 等	役職定年(伊勢崎高校)	事務長		堀口ほづみ	高崎北高校(次長)
教諭	国語	鈴木久美子	退職	教諭	数学	大竹 由貴	市立前橋高校
教諭	数学	金井 倫正	高崎市立塚沢中学校	教諭	数学	上田 将大	富岡市立富岡中学校
教諭	数学	松村 康史	高崎女子高校	教諭	保健体育	森 尚子	富岡市立富岡南中学校
教諭	保健体育	高岩 友美	藤岡市立鬼石小学校	教諭	技術	金田 佳佑	伊勢崎市立第二中学校
教諭	技術	坂上 瑞歩	前橋市立第七中学校	教諭	英語	市川 雄	あさひ特別支援学校
教諭	英語	西村 吉史	退職	教諭(地公臨)	国語	吉田 武彦	高崎東高校
教諭	英語	古海 伸陽	高崎高校(通信制)教頭	教諭(地公臨)	理(化)	菊池 正文	桐生清桜高校
教諭(地公臨)	数学	井上 尚俊	西邑楽高校	主事(地公臨)		西尾 美悠	群馬大学共同教育学部事務部
教諭(地公臨)	理(化)	金子 和明	太田工業高校				
主事(地公臨)		木村 数江	勢多農林高校				

# 令和6年度 朋友祭

コロナ禍以降初の一般公開となった朋友祭は、5月31日～6月1日に本校を会場に開催されました。通常2年に1度開催されている朋友祭ですが、ここ最近ではコロナの影響により「中止」「校内開催」と十分に楽しめない開催が続きました。

今年度は、入場規制は有りましたが、2,000人を超える一般の方々にご来場いただきました。

今年度の朋友祭のテーマは「COMET～暗闇を切り開く、未来への一直線～」です。これはコロナ禍からの完全な脱却、そして新たな試みへの強い思いを、夜空に力強く輝くCOMET（彗星）に託し、また、彗星が真っ暗な空に輝きながら軌跡を描く様子を重ね、私たちも未来を切り開いていこうという願いもこめました。クラス企画 食部門やPTAによる制服譲渡会、来場者用駐車場の廃止など新たなチャレンジをし、朋友祭の歴史に新たなページを刻みました。



ステージ発表



クラス企画



実行委員



クラス企画



部活動



クラス企画



ステージ発表



部活動

# 令和6年度 体育祭

本年度の体育祭は「凌雲～輝け中央の絆～」というテーマのもと、前回に続き高崎アリーナで開催されました。

今年は朋友祭と体育祭が同年に開催される初の試みで、また、例年と異なり9月の開催で時間も限られ、不安な要素が多くあり、また、従来とは異なる点が多くあり生徒にとっても実行委員にとっても、挑戦的な体育祭となりました。

けれど、結果的にこの体育祭が、1年に2つの大きな行事が詰まった2024年の学校生活を彩る、思い出の一端を担えることとなりました。



開会式



応援合戦



玉入れ



しっぽ取り



騎馬戦



綱引き



部対抗リレー



空飛ぶ大玉



障害物競走



台風目



団対抗リレー



全力応援

# 令和6年度卒業生(16期生)進路概況

群馬県立中央中等教育学校進路指導部

## 1 概況

令和7年3月に本校を卒業した16期生119名(男子61名、女子58名)は、コロナ禍を経て、いろいろなことがさまざまな面で変化していく中で、「第1志望校、現役合格」をめざして一人ひとりが前進し、自分の夢や希望を実現すべくそれぞれの進路先に進みました。現役進学率は、95.0%でした。

16期生は、新教育課程での入試初年にあたり、共通テストでは国語や地歴公民での科目変更、「情報」の新設や、旧課程との得点調整があるのかなど、不安が尽きない中、自分を最後まで信じ、強い気持ちで受験に挑んでいきました。

近未来の社会において、本校の教育理念である「World Citizen」として活躍するものと確信しています。

## 2 最難関大、医学部医学科

現役生は、東京大に4名(理Ⅰ、理Ⅱ各2名)のほか、京都大に7名(文、経済、法、理各1名及び工3名)が進学します。京都大7名のうち2名は特色入試での合格です。男女別内訳は男子6名、女子1名で、東京大はいずれも男子です。医学部医学科については、国公立では、群馬大に5名、秋田大に2名のほか、弘前大、筑波大、新潟大、福井大、愛媛大、福島県立医大にそれぞれ1名、私立大では国際医療福祉大に2名の計15名が進学します。その男女別内訳は男子6名、女子9名です。

## 3 国公立大

最難関大を含む国公立大には現役生のべ68名が合格し、そのうちの62名が進学します。北は青森県から、南は愛媛県まで、東日本を中心に進学していきます。難関10大学では、上記東大・京大の11名のほか、東北大に7名、名古屋大に1名進学します。

## 4 私立大

収容定員厳格化の影響もあってか、補欠からの繰り上がり合格が少なくなったように思います。最多進学先は早稲田大で12名が進学します。そのうち指定校推薦による進学者は6名でした。

## 5 過年度卒業生(浪人生)【参考】

過年度卒業生は、福島県立医科大(医)、群馬大(医)、滋賀大(データサイエンス)、大阪公立大(文)、上智大(外国語)、関西学院大(工)等に合格しました。

## 6 展望

「大学入試共通テスト」では、思考力・判断力が

求められます。新教育課程になり、「情報」が加わったばかりでなく、試験の出題形式や内容にも変化が見られ、これまでの「センター試験」対策では対応できない部分が多くなってきています。また、総合型選抜や学校推薦型選抜だけでなく、一般選抜においても、「総合問題」の出題が増えつつあります。

本校は、FEWC 課題研究をはじめとして、オープンエスチョンにも対応できる力を育てています。また、グローバル教育の推進とさらなる授業改善が、大学入試改革への対策に直結するものと考えています。

生徒全員の「第1志望校、現役合格」を実現するために、今後も関係の皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

【表1】卒業生の進路別実人数(現役生のみ)

卒業期	卒業生数	大学		準大学等	就職	進学努力	進現学率役(%)
		国公立	私立				
1	124	50	53	4	0	17	86.3
2	124	51	56	4	0	13	89.5
3	119	50	48	0	0	21	82.4
4	120	49	54	3	0	14	88.3
5	124	60	52	4	0	8	93.5
6	119	61	46	3	0	9	92.4
7	122	60	53	2	0	7	94.3
8	122	44	62	5	0	11	91.0
9	123	52	55	1	0	15	87.8
10	122	57	59	0	0	6	95.1
11	122	65	43	3	0	11	91.0
12	119	54	61	0	0	4	96.6
13	116	45	61	4	0	6	94.8
14	119	64	52	0	0	3	97.5
15	114	49	56	4	0	5	95.6
16	119	62	51	0	0	6	95.0

【表2】16期生文理別、男女別進路先(実人数)

	卒業生数	大学		準大学等	就職	進学努力
		国公立	私立			
文系男子	25	13	11	0	0	1
文系女子	32	14	18	0	0	0
理系男子	36	24	9	0	0	3
理系女子	26	11	13	0	0	2

- ・準大学等…文部科学省所管外の大学のほか、短大、専修・各種学校、海外の大学等を含む
- ・現役進学率…(卒業生数-進学努力)÷卒業生数×100



## 大学等合格者数(最近の3年間)

群馬県立中央中等教育学校進路指導部

### 国立大学

大学名	R5	R6	R7
北海道	1	1	
弘前	1		1
東北	11	7	7
秋田			4 (1)
山形	2	1	
福島	1	1	1
筑波技術			1
筑波	3	1	3
宇都宮		2	
群馬(情報)		1	
群馬(共同教育)		3	2
群馬(理工)	2	3	
群馬(医-医)	2	3	6 (1)
群馬(医-保健)	1		
埼玉			1
千葉	4 (1)	1	5
お茶の水女子	3	1	1
電気通信	1	2	2
東京	5 (1)	3	5 (1)
東京医科歯科	1	1	東京科学大へ
東京外国語		3	
東京学芸		1	1
東京工業	3		東京科学大へ
東京科学			1
東京農工		1	
一橋	2	1	
横浜国立	2	1	1
上越教育		1	
新潟	1	2	4
富山	1		1
金沢	5	1	2
福井			1
信州	1	2	
岐阜	1 (1)		
名古屋	1		1
滋賀			1 (1)
京都	3	2	7
京都工芸繊維	1 (1)		
大阪		2	
奈良女子		1	1
岡山			1
島根	1		
愛媛			1
九州	1	1	
大分	1		
琉球			1
合計	62 (4)	50	63 (4)

- ・年度は入試年度
- ・数字はのべ人数
- ・( )内は過年度卒業生の内数
- ・大学名、学部名等は現在の名称
- ・準大学等…短大、専修・各種学校、海外の大学等を含む
- ・令和7年3月末日までの判明分

### 公立大学

大学名	R5	R6	R7
秋田公立美術	1		
福島県立医科			2 (1)
群馬県立県民健康科学		1	
群馬県立女子	2		
高崎経済	8	2	2
前橋工科		2	1
東京都立		1	
神奈川県立保健福祉			1
横浜市立	1	1	
都留文科	2	2	1
長野	1		1
長野県立	1		1
静岡県立			1
京都府立	1		
大阪公立			1 (1)
合計	17	9	11 (2)

### 私立大学(抜粋)

大学名	R5	R6	R7
青山学院	7	12	11
慶應義塾	20 (1)	19	15
国際基督教	1		1
駒澤	4	2	3 (1)
芝浦工業	24	16	20 (1)
上智	18	23	9 (3)
専修	7	9	2
中央	16 (2)	24	9
東京女子	5 (1)	3	1
東京理科	41 (2)	21	28 (1)
東洋	16	31	16
日本	17	7	12
日本女子	1	5	1
法政	25	19 (1)	19
明治	27	31 (1)	23 (1)
立教	21	18	12
早稲田	31 (2)	31	27 (1)
同志社	6	2	2
立命館	10	3	8
合計	432 (14)	475 (6)	367 (15)

### 準大学等(抜粋)

学校名	R5	R6	R7
防衛大学校	1		
防衛医科大学校	3 (1)		
合計	4 (1)	3	0

収支報告

令和5年度  
群馬中央同窓会決算

■ 一般会計				
収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
繰越金	263,572	263,572	0	
運営費計	3,130,000	3,120,000	△10,000	
入会金	1,150,000	1,140,000	△10,000	10,000円×114名
特別会費	920,000	912,000	△8,000	8,000円×114名
年会費	1,060,000	1,068,000	8,000	2,000円×534名
総会費	200,000	174,000	△26,000	
特別積立会計より	1,700,000	1,500,000	△200,000	
その他収入	128	12	△116	預金利息
合計	5,293,700	5,057,584	△236,116	

■ 一般会計				
支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
会議費計	330,000	627,020	△297,020	
総会	250,000	471,570	△221,570	通常総会
会議費	80,000	155,450	△75,450	役員会
事業費計	4,580,000	3,743,478	836,522	
会員親睦費	100,000	144,615	△44,615	活動費補助
母校寄与事業	1,700,000	1,000,000	700,000	図書蔵書、地球市民語学研修補助ほか
会報制作費・発行費	2,600,000	2,453,178	146,822	
行事費	150,000	145,685	4,315	開校記念式典ほか
Webページ設置管理料	30,000	0	30,000	Webページ管理料
役員費計	95,000	82,545	12,455	
通信費	5,000	0	5,000	
払込手数料	90,000	82,545	7,455	年会費払込料加入者負担額 中央中等職員歓迎会参加費ほか
渉外費	30,000	32,805	△2,805	
広告費	40,000	22,220	17,780	高校野球ガイド広告掲載料
慶弔費	70,000	68,000	2,000	香典、供花
卒業記念品費	90,000	103,488	△13,488	卒業証書ホルダー
転退職員餞別	50,000	40,000	10,000	転退職員餞別
積立金	0	0	0	
予備費	8,700	0	8,700	
合計	5,293,700	4,719,556	574,144	

収入総額5,057,584円 - 支出総額4,719,556円 = 338,028円 (次年度へ繰り越し)

■ 特別積立会計				
収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
繰越金	29,789,575	29,789,575	0	
一般会計繰入金	0	0	0	
その他収入	425	224	△201	預金利息等
合計	29,790,000	29,789,799	△201	

■ 特別積立会計				
支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
同窓会費一般会計へ	1,000,000	1,500,000	△500,000	同窓会一般会計へ貸出し、年度未戻入
周年事業	0	0	0	
その他支出	28,790,000	0	28,790,000	
合計	29,790,000	1,500,000	28,290,000	

収入総額29,789,799円 - 支出総額1,500,000円 = 28,289,799円 (次年度へ繰り越し)

監査の結果、適切と認めます。  
令和6年3月31日 会計監査 工藤 雅史  
生沼 英治

令和6年度  
群馬中央同窓会予算

■ 一般会計				
収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰越金	338,028	263,572	74,456	
運営費計	3,500,000	3,130,000	370,000	
入会金	1,220,000	1,150,000	70,000	10,000円×122名
特別会費	1,220,000	920,000	300,000	10,000円×122名
年会費	1,060,000	1,060,000	0	2,000円×530人
総会費	200,000	200,000	0	
特別積立会計より	1,000,000	1,700,000	△700,000	
その他収入	72	128	△56	
合計	5,038,100	5,293,700	△255,600	

■ 一般会計				
支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
会議費計	640,000	330,000	310,000	
総会	480,000	250,000	230,000	通常総会
会議費	160,000	80,000	80,000	役員会
事業費計	3,900,000	4,580,000	△680,000	
会員親睦費	150,000	100,000	50,000	活動費補助
母校寄与事業	1,000,000	1,700,000	△700,000	図書蔵書、地球市民語学研修補助ほか
会報制作費・発行費	2,600,000	2,600,000	0	
行事費	150,000	150,000	0	開校記念式典補助ほか
Webページ設置管理料	0	30,000	△30,000	群馬中央同窓会ホームページ管理料
役員費計	95,000	95,000	0	
通信費	5,000	5,000	0	郵便料、メール便
払込手数料	90,000	90,000	0	年会費払込料加入者負担額
渉外費	40,000	30,000	10,000	交際費
広告費	40,000	40,000	0	高校野球ガイド広告掲載料ほか
慶弔費	80,000	70,000	10,000	慶弔
卒業記念品費	120,000	90,000	30,000	卒業証書ホルダー
転退職員餞別	100,000	50,000	50,000	転退職員餞別金
積立金	0	0	0	特別会計積立金
予備費	23,100	8,700	14,400	
合計	5,038,100	5,293,700	△255,600	

■ 特別積立会計				
収入の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰越金	28,289,799	28,789,575	△499,776	前年度繰越金
一般会計繰入金	0	0	0	
その他収入	201	425	△224	預金利息
合計	28,290,000	28,790,000	△500,000	

■ 特別積立会計				
支出の部 (単位：円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
同窓会費一般会計へ	1,000,000	1,000,000	0	同窓会一般会計へ貸出し、年度未戻入
周年事業	0	0	0	
その他支出	27,290,000	28,790,000	△1,500,000	
合計	28,290,000	29,790,000	△1,500,000	

お知らせ

8期同窓会開催

昨年12月1日(日)にメトロポリタン高崎で中央高校8期同窓会を開催しました。「古来稀なり」の古希祝いを開催。県内外よりの友と集い語り、肩を組み校歌合唱、来年も是非とも会おうと。

昨年はコロナ禍急遽の開催、そこで「Part IIの古希祝い」を、令和7年11月15日(土)午後4時よりメトロポリタン高崎で開催予定、参加をお待ちしております!!

担当幹事：福田幸正 携帯：090-9957-3369

E-mail：minamignm@yahoo.co.jp



朋友会ゴルフコンペ



朋友会ゴルフコンペは毎年4月29日と11月3日の年2回、毎回二十数名の方々が参加して開催されています。今年度も例年通りの開催予定ですので皆様ご参加ください。

連絡先は以下のとおりです。

佐藤 義久 (中央高校11期) 携帯：090-3539-5745

E-mail：secfield@olive.ocn.ne.jp

首都圏支部懇親会開催



昨年令和6年11月16日に首都圏支部懇親会を港区新橋にある中国料理新橋亭において開催しました。

今回コロナの関係で6年ぶりの開催となりました。時沢会長代理として福田役員、支部長の挨拶のあと懇親に移り、出席者の近況報告、支部長のカードマジック、昔の懐かしい思い出話などで大盛況でした。次回の令和7年の首都圏同窓会懇親会は秋を予定しております。中央中等卒業生の方もぜひ出席して下さい！お待ちしております。尚、詳細についてはホームページを御覧ください。

首都圏支部長 後藤隆次郎 (9期)

令和6年度 同窓会組織役員

- |  |  |
|--|--|
| <p>■ 会長<br/>時澤 秀明 (13)</p> <p>■ 副会長<br/>川島 陽一 (14)<br/>反町 雅浩 (14)</p> <p>■ 書記<br/>生沼 英治 (17)<br/>阿久津 等 (31)</p> <p>■ 会計<br/>佐藤 義久 (11)<br/>皆川 智哉 (中等7)</p> <p>■ 会計監査<br/>福田 幸正 (8)<br/>砂長 聡 (14)</p> | <p>■ 理事<br/>後藤隆次郎 (9)<br/>※首都圏支部長</p> <p>宮島 茜 (中等2)<br/>皆瀬 勇太 (中等2)</p> <p>■ 顧問<br/>塚越 陽平 (1)<br/>塚越三三男 (2)<br/>市川 光則 (6)</p> <p>※ ( ) 数字は中央高校卒業期数</p> |
|--|--|

令和6年度 群馬中央同窓会事業報告

- 3月31日(日) 中央中等教育学校管弦楽部定期演奏会出席
- 4月8日(月) 中央中等教育学校 第21回入学式出席
- 4月19日(金) 中央中等教育学校教職員歓迎会出席
- 4月25日(木) 第1回役員会(役員組織、総会、会報等)
- 4月29日(月) 第85回朋友会ゴルフコンペ
- 5月17日(金) 同窓会報31号発行
- 5月23日(木) 第2回役員会(総会準備等)
- 6月22日(土) 令和6年度群馬中央同窓会通常総会・懇親会
- 7月11日(木) 第3回役員会(総会反省、開校記念式典等)
- 11月1日(金) 開校記念式典出席
- 11月3日(日) 第86回朋友会ゴルフコンペ
- 11月14日(木) 第4回役員会(開校記念式典反省、来年度行事等)
- 11月16日(土) 首都圏支部懇親会
- 1月16日(木) 第5回役員会(同窓会報等)
- 2月27日(木) 中央中等教育学校第16期卒業生同窓会入会式出席(記念品を贈呈)
- 2月28日(金) 中央中等教育学校第16回卒業式出席
- 3月6日(木) 第6回役員会

令和6年度

## 通常総会・懇親会開催

令和6年6月22日(土)エテルナ高崎において、令和6年度群馬中央同窓会通常総会・懇親会が開催されました。

前年より様々な団体や部活動の代表の方々に参加の要請をお願いし、約60名の皆様にご出席いただき、特に、中等の卒業生にも10数名の出席をいただきました。期別幹事様はじめご協力いただいた方々に感謝いたします。

これからも同窓生の親睦と母校の皆さまの支援のために、ますます同窓会を盛り上げていきたいと思っておりますので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



### お知らせ

#### ◆同窓会報の発送に関して

同窓会報は、例年5月にお届けしています。同窓会の活動や後輩生徒の活躍を会員の皆さまに紹介させていただくとともに、同窓会の活動資金である年会費の振込のお願いをさせていただいています。年会費の振込にご協力いただいている会員の皆さま、たいへんありがとうございます。

しかしながら、最近の郵便料金の高騰もあり、会報の発送にかかる費用が同窓会の運営資金を圧迫するようになりました。このままでは、今までどおりすべての会員の皆さまにお届けするのが難しい状況となっており、役員会で対策を検討中です。今のところ、一定期間（例えば5年間）に一度も振込が確認できなかった会員の方については、会報の発送を取りやめる方向で検討しています。たいへん心苦しい限りですが、同窓会の円滑な運営のためにはやむを得ないことであり、ご理解をお願いいたします。

なお、発送を取りやめた場合でも、その後お振込みが確認できれば再発送できるよう考えています。よろしくお願いいたします。

#### ◆同窓会「期別幹事」のみなさまへ

昨年末、今年の6月21日(土)に開催される群馬中央同窓会定期総会・懇親会の案内をお送りし、同期生の方への周知と取りまとめをお願いさせていただきました。参加していただける方のおよその人数を、6月7日(土)までに同窓会のメールアドレスまでお知らせください。よろしくお願いいたします。

また、転居等で住所が変わった方は、同窓会ホームページの「[会員情報の変更](#)」にてご連絡いただくようお願いいたします。

### 年会費振込についてのお願い

日頃から群馬中央同窓会の活動へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

皆さまからいただく年会費は、会員相互の親睦を図るだけでなく、現役の中央中等教育学校生の教育活動を支援するための大事な財源となっています。

今後とも本事業の充実と後輩たちの応援のため、卒業生の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

#### 中央中等の後輩に対する教育活動支援

- 海外研修事業補助
- 地球市民語学研修補助
- 図書購入
- 講演会講師謝礼 等

年会費は 2,000円 です。

年会費の振込は、以下の4つの方法がご利用できます

※①③④の場合は、お名前のほか、備考欄等に「高校〇期」「中等〇期」と卒業期をご記入ください。

前回より利用可能になりました

#### ①オンライン決済（コアシステムズ）

VISAカード・Masterカードをお持ちの方

QRコードを読み取ってください



以下、従来どおりです

#### ②ゆうちょ銀行 00570-4-49058

〈口座名〉群馬中央同窓会

#### ③群馬銀行 本店営業部 普通預金 2445643

〈口座名〉群馬中央同窓会 会長 時澤秀明

#### ④東和銀行 新前橋支店 普通預金 0372142

〈口座名〉群馬中央同窓会 会長 時澤秀明